

国立民族学博物館では日本財団の助成を得て、手話言語学研究部門（通称：みんなく手話部門/SiLLR：シラー）を展開しています。部門の二本柱のひとつである「学術手話通訳研修事業」についてご紹介します。

SiLLRの二本柱

1. 手話言語学関連事業

- 1) 手話言語研究
- 2) 手話言語学のアウトリーチ
 - ・大学等への「手話言語学」開講支援
 - ・国際研究集会（みんなくフェスタ）の開催

2. 学術手話通訳研修事業

- 1) 学術手話通訳者研修会の実施
- 2) 手話通訳関連諸講座の提供

学術手話通訳研修事業の目的と到達目標

●事業目的

- 1) 学術手話通訳者研修会の実施
 - ・学術領域への対応に特化した手話通訳者養成の実施
 - ・学術手話通訳者養成の枠組み作り
 - ・学術手話通訳ニーズの発掘と対応
 - ・学術手話通訳の職業化トライアル
- 2) 手話通訳関連諸講座の提供
 - ・現役手話通訳者ブラッシュアップサポート：知識・技術・資格



●到達目標

- ◆言語通訳のプロとしての通訳技術の向上
 - ・手話通訳技術
 - ・手話通訳技術の相互検証・自己検証力
 - ・事前学習（準備）ノウハウ
 - ・通訳パートナーシップ・チーム力
 - ・コーディネーターの有効活用術 など
- ◆ベーシックな知識・技術の習得
 - ・手話言語学、言語学
 - ・手話通訳技術
 - ・公的資格取得

取り組み

●学術手話通訳研修事業

- ・月1・2回の研修会の実施
通訳技術検証
学術手話通訳についての講義
ワークショップ など
- ・現場実習（有償OJT）の提供と検証
- ・学術手話通訳現場参与観察機会の提供



●手話通訳・手話言語学に関する講座の開催

- ◆みんなくで手話言語学を学ぼう！
現役手話通訳者、通訳者を目指す人、通訳者養成講師を対象とした講義とワークショップ
- ◆みんなくで手話通訳士を目指そう！
手話通訳士試験二次（技術）試験受験者を対象とした実技検証講座
- ◆みんなくで手話通訳技術を磨こう！
現役手話通訳者を対象とした通訳技術ワークショップおよび検証講座
- ◆楽しい言語学を学ぶ会（たのげん）
言語学基礎講座

●大阪府手話通訳者確保事業との連携

- ・登録手話通訳者・手話通訳者養成講習会講師現任研修の実施
- ・若手手話通訳者養成トライアル事業受託



広報

- みんなく手話部門URL：
<http://www.sillr.jp/>
SiLLRの活動を紹介しています。



- みんなく手話インフォメーションML (SiLLR info)
学術手話通訳研修事業、関連講座等の情報をいち早く配信します。
※登録を希望される方は以下3点を明記し、下記アドレス宛にお申込みください。
ML登録・情報配信申込アドレス：
shuwagengo@minpaku.ac.jp

- 1) 氏名
 - 2) 氏名ふりがな
 - 3) 登録希望メールアドレス
- *長文メールの受け取れるもの

